

親子で学ぶ哲学ユーモア教材 思い通りにいかない力を鍛えよう～ズレる世界を面白がる練習～

この教材のねらい

この教材は、

- ・思い通りにいかない出来事に振り回されにくくなる
 - ・失敗やズレを「学び」に変える力を育てる
 - ・親子で笑いながら考える習慣をつくることを目的としています。
- 「うまくいかない=ダメ」ではなく、
「うまくいかない=考えるチャンス」
という見方を、親子で自然に身につけます。

第1章 思い通りにいかないって、どういうこと？

ゲームが思った通りに進まない、友だちが思った反応をしてくれない、がんばったのに結果が出ない。

こうした出来事は、誰にでも起こります。

世界はもともと、思い通りにいかないようにできているのです。

【親子ワーク①】今日のズレ探し

- ・なにが起きた？_____
- ・そのときの気持ち_____

第2章 哲学ユーモアってなに？

哲学ユーモアとは、「まあ、そう来るよね」「人生、そんなもんか」と、ズレを笑える考え方です。

怒ったり、自分を責めたりする代わりに、少し距離をとって眺めます。

【親子ワーク②】ズレにあだ名をつけよう

あだ名：_____

第3章 思い通りにいかない力が育つと

この力が育つと、失敗しても立ち直りが早くなり、人と違っても気にしすぎず、新しいことに挑戦しやすくなります。

【親子ワーク③】別の見方をしてみよう

- ・学べること_____
- ・次に活かせること_____

第4章 世界の実践例

フィンランド：間違いは学びの材料

アメリカ：即興力を育てる教育

デンマーク：完璧でない日常を楽しむ文化

第5章 おうちでできるトレーニング

- ① 1日1ズレふりかえり
- ② 失敗を責めない
- ③ 親もズレを話す
- ④ 70点で合格

おわりに

思い通りにいかない日は、だめな日ではありません。

考える力が育つ日です。

笑って、考えて、少し成長する。

それをくり返すうちに、人生はだんだん面白くなっていきます。